

資料1. 村上駅周辺のまちづくりの基本方針及び施策（修正案）

<協議のポイント>

①6つの基本方針（案）の内容

②基本方針における「取り組みの視点・方向性」の考え方

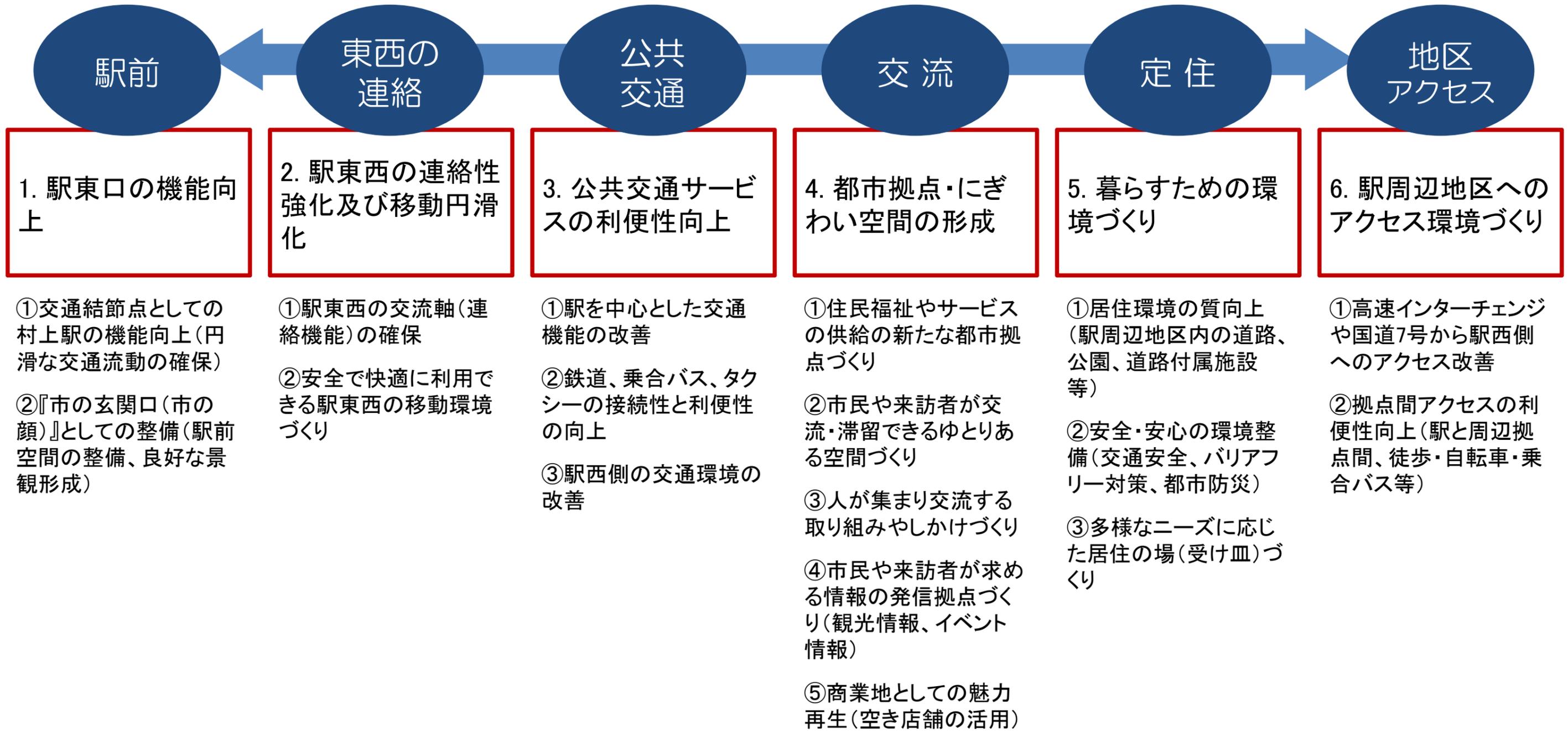
まちづくりの課題	基本方針（案）		具体的な施策（案）
		取り組みの視点・方向性	
<p>まちづくりの課題</p> <p>ア. 駅前の賑わいや玄関口としての魅力に乏しい</p> <p>イ. 駅前空間及び公共交通の利便性の低さ</p> <p>ウ. 駅東西の分断感</p> <p>エ. 地区内移動時の制約</p> <p>オ. 周辺地区とのアクセシビリティ</p> <p>カ. 居住環境の魅力不足</p> <p>↓</p> <p>まちづくりの視点</p> <p>(1) 持続的な発展・活性化に資する都市機能の配置と誘導</p> <p>(2) らしさ・魅力の創出</p> <p>(3) 市民等の主体的活動と行政の先導的支援</p>	1. 駅東口の機能向上	<p>①交通結節点としての村上駅の機能向上（円滑な交通流動の確保）</p> <p>②『市の玄関口（市の顔）』としての整備（駅前空間の整備、良好な景観形成）</p>	<p>a. 駅東口広場空間の整備</p> <p>b. 鉄道利用者向け駐車場整備</p> <p>c. 駅前通りの環境整備</p>
	2. 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化	<p>①駅東西の交流軸（連絡機能）の確保</p> <p>②安全で快適に利用できる駅東西の移動環境づくり</p>	<p>a. 駅東西を連絡する通路の整備</p> <p>b. 鉄道横断箇所の安全対策</p>
	3. 公共交通サービスの利便性向上	<p>①駅を中心とした交通機能の改善</p> <p>②鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上</p> <p>③駅西側の交通環境の改善</p>	<p>a. 駅の利便性向上</p> <p>b. 駅舎の整備</p> <p>c. 乗合バスの利便性向上</p>
	4. 都市拠点・にぎわい空間の形成（交流人口の増加）	<p>①住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり</p> <p>②市民や来訪者が交流・滞留できるゆとりある空間づくり</p> <p>③人が集まり交流する取り組みやしかけづくり</p> <p>④市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり（観光情報、イベント情報）</p> <p>⑤商業地としての魅力再生（空き店舗の活用）</p>	<p>a. 大規模跡地等の利活用（地区の核となる都市機能増進施設の整備）</p> <p>b. にぎわい創出のイベントやしかけづくり</p> <p>c. 情報発信拠点の整備</p> <p>d. 商業活性化に向けた取組</p> <p>e. 案内誘導の充実</p>
	5. 暮らすための環境づくり（定住人口の増加）	<p>①居住環境の質向上（駅周辺地区内の道路、公園、道路附属施設等）</p> <p>②安全・安心の環境整備（交通安全、バリアフリー対策、都市防災）</p> <p>③多様なニーズに応じた居住の場（受け皿）づくり</p>	<p>a. 地区内道路の整備</p> <p>b. 公園・広場空間の整備</p> <p>c. 自転車・歩行者空間の整備</p> <p>d. 定住促進の支援方策</p>
	6. 駅周辺地区へのアクセス環境づくり	<p>①高速インターチェンジや国道7号から駅西側へのアクセス改善</p> <p>②拠点間アクセスの利便性向上（駅と周辺拠点間、徒歩・自転車・乗合バス等）</p>	<p>a. 高速インターチェンジ等から駅西側へアクセスする幹線道路の整備</p> <p>b. 案内誘導の充実</p> <p>c. 駅西側の整備及び乗合バスの利便性向上</p>

※アンダーライン箇所は、前回資料から見直したもの。統合・削除した項目もあり。

## 基本方針に係る優先度の設定について

村上駅周辺のまちづくりについては、それぞれの基本方針が相互に連携し機能することで、まちづくり全体が達成されていくものと考えます。村上駅周辺まちづくりプラン基本構想では、基本方針には優先度を設定するという考え方は適用せず、基本方針の下で個々の取り組み、または具体的な施策で優先度を考えることとなります。

### < 6つの基本方針 >



# 村上駅周辺地区の将来整備方針図(修正案)

凡 例	
●	店舗
●	飲食店
●	宿泊施設
●	行政施設
●	文化・教育施設
●	医療・福祉施設
●	交通施設
○	金融・郵便施設
●	その他施設
■	大規模公共施設用地
○	バス停留所
---	バス路線網
---	用途地域界
---	町丁界・町丁名

※建物形状表示は建築面積500㎡以上の建築物  
黄丸：町



- 【基本方針(案)】**
1. 駅東口の機能向上
  2. 駅東西の連絡性強化及び移動円滑化
  3. 公共交通サービスの利便性向上
  4. 都市拠点・にぎわい空間の形成(交流人口の増加)
  5. 暮らすための環境づくり(定住人口の増加)
  6. 駅周辺地区へのアクセス環境づくり

2-2安全で快適に利用できる駅東西の移動環境づくり  
6-1高速インターチェンジや国道7号から駅西側へのアクセス改善

5-1居住環境の質向上(駅周辺地区内の道路、公園、道路付属施設等)  
5-2安全・安心の環境整備(交通安全・バリアフリー対策、都市防災)  
5-3多様なニーズに応じた居住の場(受け皿)づくり  
6-2拠点間アクセスの利便性向上

4-2市民や来訪者が交流・滞留できるゆとりある空間づくり

4-1住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり

3-2鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上

2-1駅東西の交流軸(連絡機能)の確保  
3-3駅西側の交通環境の改善  
6-2拠点間アクセスの利便性向上

1-1交通結節点としての村上駅の機能向上  
1-2『市の玄関口(市の顔)』としての整備  
3-1駅を中心とした交通機能の改善  
3-2鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上  
3-3駅西側の交通環境の改善  
4-4市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり

2-2安全で快適に利用できる駅東西の移動環境づくり

4-3人が集まり交流する取り組みやしかけづくり  
4-5商業地としての魅力再生

4-1住民福祉やサービスの供給の新たな都市拠点づくり  
4-3人が集まり交流する取り組みやしかけづくり  
4-4市民や来訪者が求める情報の発信拠点づくり

3-2鉄道、乗合バス、タクシーの接続性と利便性の向上

大規模施設跡地

鉄道利用による来訪者(新潟・新発田、首都圏等)

高速道路インターチェンジ [村上瀬波温泉IC]

※岩船街道踏切付近

町屋・城下町観光との連携(徒歩による回遊)

国道345号 瀬波温泉、岩船港との連携

村上駅から半径1000m (総世帯数: 10,083人)

村上駅から半径500m

0 50 100 200 300 400 500m